

獣害信仰の景観崩落

世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の全12構成資産のうち、長崎県内の5資産で、教会周辺の土が掘り返されたり、石積み崩落したりする被害が相次いでいることがわかった。野生のイノシシやシカに起因するとみられ、各自治体は遺産の保護と景観保全の両立に向けて対策の検討に乗り出している。

長崎5資産 過疎化で出没増

世界遺産・潜伏キリシタン集落



長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産 17～19世紀の約250年に及ぶキリスト教の禁教下、既存の宗教や社会と共生しながらひそかに信仰を続けた潜伏キリシタンの文化的伝統を示す資産群。当時の景観をとどめる長崎県本土、五島列島、天草諸島などの集落や、開国後に潜伏キリシタンがフランス人神父に信仰を告白した「大浦天主堂」(長崎市)など長崎、熊本両県の8市町にある12資産で構成されている。

旧野首教会近くで獣害と風水害が重なって崩落したとみられる石積み(10月25日、長崎県小値賀町・野首島)

再犯防ぐ 訪問支援

刑務所の出所者を受け入れている更生保護施設の一部が、施設を退所した人の自宅などを訪ねて支援する「訪問支援」を始めた。

8か所

11月上旬、東京都豊島区の更生保護施設「新興会」で捕縛員を務める阿部俊男

「*信頼関係」

退所した男性を訪ね、生活面などの相談に乗る「訪問支援」の阿部さん(奥)(11月4日、東京都内で)

訪問支援事業で行われている退所者への主な支援内容
病院への付き添い
ハローワークに同行するなど就労のサポート
年金や生活保護の受給など行政手続きのサポート
孤立感軽減のための面談
金銭管理の助言 ▶ 転居時の手伝い

受け入れた。犯罪白書によると、刑法犯で検査された人のうち、再犯者の割合を示す「再犯者率」はほぼ右肩上がりであり悪化が続く。21年は過去最悪だった前年の49.1%から0.5%下がったものの、48.6%で依然高い水準だ。更生保護施設は出所者ら

1施設を含む7都府県の8か所を対象施設に指定した。「訪問支援事業」を始めた。法務省は対象施設を増やす方向で検討を進めており、来年度予算で計上された更生保護関係費用の一部を充てる見通し。担当者は「円滑な社会復帰を後押しするため思の長い丁寧な支



- ### 「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」で獣害が確認された構成資産
- ① 外海の出津集落(長崎市)
 - ② 外海の大野集落(同)
 - ③ 黒島の集落(佐世保市)
 - ④ 野崎島の集落跡(小値賀町)
 - ⑤ 久賀島の集落(五島市)

このうち定住者がいない小値賀町・野崎島では、畑跡や旧野首教会周辺の石積み敷が最大幅約15メートルにわたって崩落。町教育委員会はシカやイノシシが石積みをつつき、風雨などの影響も受けて崩れ落ちたとみ

捕獲追いつかず
被害が出ているのは「野首島の集落跡(小値賀町)」「久賀島の集落」(五島市)、「黒島の集落」(佐世保市)、「外海の大野集落」(長崎市)、「外海の出津集落」(同)の5資産。

大野教会堂周辺の石積み崩れ、長崎市の大野集落でも柵の設置が検討されてきたが、住民や観光客の安全性や景観保全への影響を懸念する声が上がった。近々の出津集落では、キリシタン墓地の敷地が掘り返されているのが確認された。

耕作放棄地増え
イノシシやシカが集落に出没する背景には、過疎化の進行があるとみられる。県生物学会の元会長で長崎女子短大の松尾公則教授(71)は「耕作放棄地が増え

て山と人里との境界が薄れ、動物が集落で活動しやすくなっているのではないかと指摘する。構成資産で住民が暮らす8集落の人口は、世界文化遺産に登録された2018年の12月に計1522人だったのが、21年12月には1391人となり、3年間で約1割減少。各集落では、わなを設置するなど対策を講じてきたが、追いついていないのが現状だ。

石積みネット効果
こうした中、小値賀町・野崎島での対策が目立っている。町教委が進めているのが、ポリエチレン製のネットで石積みの上を覆うシンプルな方法だ。

16年に担当者がインターネットで家庭菜園の鳥獣被害対策を見つけた。イノシシがネットに足や鼻が絡むのを嫌う傾向があることを知った。石積みネットをかけた近隣のイノシシが石積みをつつかずに立ち去った。ネットの設置を始めて6年間、石積みもネットも破損していないという。

今年10月には各自治体の担当職員向けの研修会が野崎島で開かれ、町教委で文化財を担当する平田賢明さん(42)が「石積み最小限に覆う対策なので、景観の保全にもつながら」と紹介した。県文化振興・世界遺産課は「この対策を各地に広め、地域全体で遺産を守る取り組みにつなげたい」としている。

山口積雪29センチ 交通乱れ続く
列島は24日午前も東北や北陸、東海で大雪となり、九州・山口でも積雪が確認された。雪は25日の明け方まで続く見通しで、気象庁が路面の凍結などへの注意を呼びかけている。山口県



岩国市で氷点下4.3度、宮崎県高鍋町で同4.1度とともに今季最低を記録された。積雪は24日午前9時現在山口で29センチ、大分県中津市で10センチ、佐賀県伊万里市と福岡県飯塚市で各2センチとなっている。山口県秋市の

むつみ地区は一面の銀世界となり、住民らが除雪作業に追われた。交通機関も乱れ、九州新幹線の一部が遅れが生じたほか九州自動車道も福岡、佐賀、熊本、大分県の一部区間で通行止めが続いた。山口県では23日深夜に周南市の山陽自動車道で路面凍結による物損事故が4件発生した。

25日午前6時までに予想される24時間降雪量は多い所で、山が山口県20センチ、大分、宮崎、鹿児島10センチ、平地が山口、大分、鹿児島5センチ、福岡、佐賀、長崎、宮崎県3センチ。

石積みの上に獣害対策のネットを張る担当者ら(10月25日、長崎県小値賀町・野首島)

冷えには胃腸を温めて活性化させるのが重要

おうち温灸で

創業1947年 信頼と実績 (株)三晴社

商品!!

胃腸を温めて活性化させるのが重要